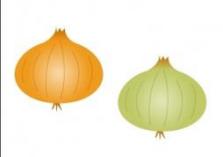


～10月の野菜・花きの管理～

種まき	栽培のポイント																					
<p>野菜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シュンギク ・コマツナ ・ホウレンソウ ・二十日ダイコン ・エンドウ ・ソラマメ ・パセリ（越冬ハウス・トンネル作型 4～7月収穫）など <p>花き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トルコギキョウ（6～7月出荷） 	<p>○タマネギの定植</p>  <p>①畑の準備 タマネギは浅根性（浅く根を張る性質）であるため、過湿や乾燥の影響を受けやすい作物です。出来不出来は土壤による所が大きいので、土づくりを十分に行いましょう。 定植10日前までには施肥を行い、活着や根張りをよくするために、できるだけ深く耕し、十分に耕起・砕土を行います。</p> <p>表1：施肥量の目安</p> <table border="1" data-bbox="343 795 1149 963"> <thead> <tr> <th>10㎡あたり</th> <th>基肥</th> <th>追肥</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆肥</td> <td>20～30kg</td> <td></td> <td>20～30kg</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成分</td> <td>N</td> <td>100g～150g</td> <td>100～150g</td> <td>200～300g</td> </tr> <tr> <td>P</td> <td>250g～300g</td> <td></td> <td>250～300g</td> </tr> <tr> <td>K</td> <td>100g～125g</td> <td>100～125g</td> <td>200～250g</td> </tr> </tbody> </table> <p>※N、P、Kは成分量で計算。参考までに、BB473であれば基肥1kg、追肥は野菜追肥N30号を500g（2回に分けて）を目安に施肥する。</p> <p>②苗の準備 苗は植え傷みを少なくするために、なるべく根を切らずに抜き取り、乾燥しないうちに植え付けます。すぐに定植できない場合は根が乾燥しないように保管し、もし根が乾いている場合は水に浸漬させてから植え付けるようにしてください。</p>	10㎡あたり	基肥	追肥	合計	堆肥	20～30kg		20～30kg	成分	N	100g～150g	100～150g	200～300g	P	250g～300g		250～300g	K	100g～125g	100～125g	200～250g
10㎡あたり	基肥	追肥	合計																			
堆肥	20～30kg		20～30kg																			
成分	N	100g～150g	100～150g	200～300g																		
	P	250g～300g		250～300g																		
	K	100g～125g	100～125g	200～250g																		
<p>定植（植付け）</p> <p>野菜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たまねぎ ・イチゴ <p>花き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラー、グラジオラスの球根掘り取り 	<p>③定植 定植適期は平均気温12℃が目安です。上田ですと10月中～下旬あたりに植え付けるとよいでしょう。苗が大きすぎたり、あまり早く植えすぎると、越冬前の生育が進みすぎて、翌春のトウ立ちや分球の原因となりますので、<u>適度な大きさの苗を、適期に定植するようにしてください</u>。定植は100～120cmの幅の畝に4～6条植えが一般的です。株間は10～12cmとし、深さ3～4cmに植え付けるようにしてください。</p> <p>表2：主な品種と目標とする苗の大きさ</p> <table border="1" data-bbox="343 1467 957 1579"> <thead> <tr> <th>品種</th> <th>1本重 (g)</th> <th>茎の太さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>七宝甘70</td> <td>4～5</td> <td>4～5</td> </tr> <tr> <td>信州2号</td> <td>5～6</td> <td>5～6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この他の苗質としては、草丈25～30cm、本葉4枚前後で、茎の白い部分が短く、葉が太く素直に伸びているものを選びようにしてください。</p>	品種	1本重 (g)	茎の太さ (mm)	七宝甘70	4～5	4～5	信州2号	5～6	5～6												
品種	1本重 (g)	茎の太さ (mm)																				
七宝甘70	4～5	4～5																				
信州2号	5～6	5～6																				

○コギクの苗床準備・伏せこみ

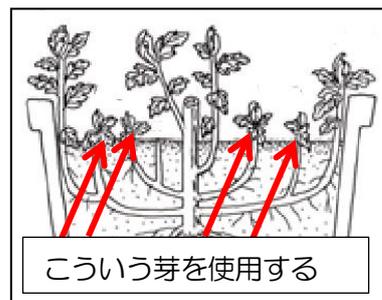


・苗床の準備

冬至芽の伏せこみ前に苗床を準備します。ほ場はトンネルまたはハウス被覆で、できるだけ排水と日当たりが良好で、耕土が深い場所を選びましょう。苗床1㎡あたり堆肥3kg、N、P、Kを成分量で5～10gを目安に施用し、pHは6～6.5にします。連作の場合は土壤消毒をしましょう。

・冬至芽の採取・伏せこみ

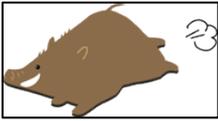
冬至芽の採取は10月下旬～11月中旬が目安です。葉が地上部に3枚程度見え、地上部の茎がのびていないものを選びましょう。伏せこみは、冬至芽の長さを5～6cmに調整し、5×5cm間隔で深さ2cm程度に植え付けます。水分不足による苗床の乾燥や、夜間の冷え込みによる植え傷みに注意しましょう。



こういう芽を使用する

○主要な鳥獣の特徴と対策

イノシシ…臆病だが力は強い



特徴：高い繁殖能力をもち、毎年4～5頭の子供を産む。泥遊びをする習性がある。本来夜行性ではないが、臆病な性格のため、夜に行動する。

食性：雑食性。人と同じ単胃（胃が一つ）なため、消化の良い食べ物を好む。

好む食べ物…穀物類全般、果樹類全般、野菜（キャベツ、トマト、ニンジン、ハクサイ、スイカ、タケノコなど）シイタケや葉タバコも食べる。

好まない作物…白ネギ、シソ、ゴボウ、ニンニク等。

対策：電気柵（15cm3段）が有効。物理柵であれば高さは1m程度必要。下をほじくり返されないよう折り返しをつける。トタンなどで畑の中を見られないようにするのも効果がある。ただし、60kgぐらいのものなら押しのける力があるため、トタンを使用する場合はしっかりと固定する。

タヌキ…意外ときれい好きな動物



特徴：イヌ科。視力はあまりよくないが、嗅覚が発達している。複数の個体が同じ場所で排泄をする「ため糞」という習性がある。マイカー線などのビニールを食い破ることもある（いたずら）。

食性：雑食性だが、果実やトウモロコシ、トマトなどの糖分の高い野菜を好む。他の中型獣との区別としては、タヌキはトウモロコシを食べる際、土がついている部分は食べない。木に登ることはあまりないため、口が届く範囲を食べることが多い。

対策：物理柵を登ることは少ないため、1m程度のアニマルネットやトタン等でも効果が高い。ただし、地際との隙間をなくすことが重要。

ハクビシン…木登りの達人

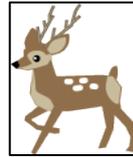


特徴：ジャコウネコ科。夜行性であり、木登りが非常に得意。足で物をつかむことができるため、電線なども渡れる。ねぐらが複数あり、点々としながら生活している。

食性：雑食性で、ブドウなどの果実やトウモロコシなどの野菜、昆虫、小動物などを食べる。ブドウの皮は食べないため、地面に皮が落ちている場合はハクビシンの可能性が高い。イネや大豆は食べない。

対策：電気柵（10～15cm×3段）。ネットなどは登ってしまうため、効果はない。防ぎたい樹木の数が少ない場合は、ネズミ返しなどを幹の周囲に設置するのも有効。登る部分をなくすのが大事である。

ニホンジカ…木の皮から果実まで何でも食べる



特徴：跳躍力は2m程度あるが、まずは隙間を探して潜り込もうとする。餌条件がよければ、メスは満一歳の秋に出産する。

食性：草食性。反芻動物のため、消化能力が非常に高い。エサがなければ毒草（ヨウシュヤマゴボウやチョウセンアサガオ等）も食べる。

好む食べ物…作物、果樹（新芽や若木の皮）、野菜など、基本的には何でも食べる。

好まない作物…サトイモ、シソ、ニガウリ、モロヘイヤ、シャクヤク、エゴマ、キウイフルーツなど

対策：電気柵と物理柵を併用するとよい。

40cm2段の電気柵と、その上部に0.5～1mほどのネット柵を張る。潜り抜けを電気柵で、飛び込みをネットで防ぐ。多獣種の場合は電気柵の段数を増やすことで対応できる。

キツネ…慎重な性格

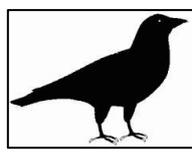


特徴：イヌ科。夜行動することが多いが、昼間も動くことがある。ジャンプ力はかなり高く、2m近くジャンプ可能である。

食性：動物食を中心とした雑食性。農作物では特にトウモロコシを好む。慎重な性格のため、ほ場から持ち出して食べる人が多い。鶏や合鴨などの被害もある。

対策：基本的にはタヌキと同様。イノシシやハクビシンもいる場合は、ネットの外側15cmに間隔15cm、2～3段の電気柵と組み合わせると良い。

カラス…「鳥目」と言われているが視力はよい



特徴：体長やくちばしの太さから、ハシブトガラスとハシボソガラスに分かれる。嗅覚は発達していないが、視力は良い。春～初夏に繁殖し、

秋～冬には若鳥を中心とする群れを作る。

食性：ブドウやリンゴ、ナシなどの果実や、トウモロコシやトマトなどの野菜を特に好む。イネを食べることは少ないが、苗を引き抜くなどの被害はある。

対策：カラスの羽を伸ばした長さが約1mであるため、1m間隔での糸張りが有効。飢えに極端に弱いいため、収穫後の残さを処理し、集落ぐるみで冬場のエサをなくすことが重要。防鳥ネットであれば、75mm目以下のものを使用する。

あさつゆ連絡

電話番号：0268-41-1062

FAX：0268-41-1063

技術事項作成協力

上小農業改良普及センター（岡崎）

電話番号：0268-25-7156（直通） FAX：0268-23-2161